

平成22年3月期 第3四半期決算短信

平成22年1月28日

上場取引所 東大

上場会社名 センコー株式会社

コード番号 9069 URL <http://www.senko.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 福田 泰久

問合せ先責任者 (役職名) 総務部長

(氏名) 鷲田 正己

TEL 06-6440-5155

四半期報告書提出予定日 平成22年2月12日

配当支払開始予定日

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年3月期第3四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第3四半期	169,141	2.1	5,355	9.7	5,179	8.7	2,601	10.1
21年3月期第3四半期	165,700		4,882		4,765		2,363	

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円銭	円銭
22年3月期第3四半期	23.69	21.33
21年3月期第3四半期	21.54	19.42

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円銭
22年3月期第3四半期	167,790	54,828	31.8	486.57
21年3月期	154,212	52,130	33.5	470.48

(参考) 自己資本 22年3月期第3四半期 53,435百万円 21年3月期 51,658百万円

2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭
21年3月期		4.00		4.00	8.00
22年3月期		4.00			
22年3月期 (予想)				4.00	8.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭
通期	230,000	8.2	6,300	13.2	6,200	12.0	3,000	5.3	27.32

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 有

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無
 新規 社 (社名) 除外 社 (社名)

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有
 (注)詳細は、6ページ【定性的情報・財務諸表等】4.その他をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

会計基準等の改正に伴う変更 有
 以外の変更 無

(注)詳細は、6ページ【定性的情報・財務諸表等】4.その他をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	22年3月期第3四半期	111,989,476株	21年3月期	111,989,476株
期末自己株式数	22年3月期第3四半期	2,169,563株	21年3月期	2,182,995株
期中平均株式数(四半期連結累計期間)	22年3月期第3四半期	109,820,008株	21年3月期第3四半期	109,738,165株

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の連結業績予想につきましては、平成21年10月28日に発表いたしました予想を修正しております。また、業績予想は本資料の発表日現在の将来に関する前提や見通し、計画に基づくものであり、実際の業績は異なる結果となる可能性があります。業績予想に関する事項については、5ページ【定性的情報・財務諸表等】3.連結業績予想に関する定性的情報をご覧ください。

(参考)

平成22年3月期の個別業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	170,000	3.0	5,100	14.6	5,000	2.9	2,400	8.1	21.85

(注)個別業績予想数値の当四半期における修正の有無 有

定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間(平成21年4月1日~平成21年12月31日以下「当第3四半期」)における日本経済は、昨年来の世界的な景気悪化が下げ止まるとともに、輸出や生産の持ち直しが鮮明になってきており、緩やかながら回復基調で推移しております。しかしながらその一方で、設備の過剰感、高い失業率などの不安材料もあり、先行きの不透明感が残る状況にあります。

物流業界におきましても、景気は回復基調にあるものの、当社の主要取扱品目である住宅物流や石化樹脂物流も低迷しており、依然として厳しい経営環境にあります。

このような環境の中、当社グループは「流通情報企業の確立」を目指した中期経営三ヵ年計画の最終年度として、「流通SCM(サプライチェーン・マネジメント)」の提供により、量販店・小売物流を中心とした業務開拓を推進し、10月に百貨店物流機能を持つ「江坂運輸株式会社」、
「阪神運送株式会社」の2社を当社グループに迎えました。

この結果、既存物量の落ち込みがあったものの新規拠点の開設並びにM&Aによる増収効果もあり、連結営業収益は1,691億41百万円と対前年同期比2.1%の増収となりました。

一方、利益面におきましては、コストの削減、見直し等により、連結営業利益は53億55百万円と対前年同期比9.7%の増益、連結経常利益は51億79百万円と対前年同期比8.7%の増益となりました。連結四半期純利益は、26億1百万円と対前年同期比10.1%の増益となりました。

当第3四半期の業績をセグメント別にご説明いたしますと、次の通りです。

(運送事業)

住宅物流及び石化樹脂物流の減少はありましたが、量販店・小売物流の拡大・深耕により、事業収入は974億82百万円と対前年同期比0.3%の増収となりました。

(流通加工事業)

前期に開設した「市川ファッションロジスティクスセンター」、「内守谷新倉庫」等の効果や、東京納品代行株式会社及びイヌイ運送株式会社を当期から連結子会社化したことにより、事業収入は543億58百万円と対前年同期比7.0%の増収となりました。

(その他事業)

石油販売事業における販売単価下落による影響及び商事販売事業における建設資材の販売数量減少等により、事業収入は173億円と対前年同期比2.1%の減収となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

(1) 資産、負債及び純資産の状況

(総資産)

当第3四半期末における総資産は1,677億90百万円となり、前期末に比べ135億78百万円の増加となりました。これは流動資産が98億91百万円増加したことで、投資その他の資産が17億21百万円増加したこと等によるものです。

(負債)

当第3四半期末における負債の残高は1,129億62百万円となり、前期末に比べ108億80百万円増加しました。これは一年以内償還予定の社債が70億円減少したものの、短期借入金35億26百万円及び支払手形及び営業未払金が53億24百万円、社債が70億円増加したこと等によるものです。

(純資産)

当第3四半期末の純資産は548億28百万円となり、前期末に比べ26億97百万円の増加となりました。これは利益剰余金が17億39百万円増加したことと、少数株主持分が9億円増加したこと等によるものです。自己資本比率は前期末より1.7%減少し、31.8%となりました。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第3四半期末における現金及び現金同等物は、前期末に比べ、17億92百万円増加し、135億40百万円となりました。

営業活動によるキャッシュ・フローは26億99百万円の収入となりました。これは、税金等調整前当期純利益が45億92百万円、減価償却費が36億49百万円あったことに加え、仕入債務の増加による30億1百万円の資金の増加があったものの、賞与引当金の減少により9億91百万円、売上債権の増加により41億95百万円の資金の減少及び法人税等の支払額が18億74百万円となったこと等によるものです。

投資活動によるキャッシュ・フローは16億85百万円の支出となりました。これは有形固定資産取得に18億65百万円支出したこと等によるものです。

財務活動によるキャッシュ・フローは、7億41百万円の収入となりました。これは長期借入金の返済による支出が10億6百万円、社債の償還による支出が70億円、配当金の支払いによる支出が8億52百万円あったものの、長期借入金による収入が44億円、社債発行による収入が70億円あったこと等によるものです。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

今後の物流業界においては、国内外輸送量が緩やかに回復すると予測されますが、依然として不安要素が多い状況にあり、経営環境は引き続き厳しい状況が予想されます。

このような環境の中、当社グループは引き続き、生産性向上と生産体制見直しによる更なるローコスト化および効率化推進、低収益事業の改善を継続推進することにより、収益確保に努めてまいります。

通期の連結業績予想につきましては、連結営業収益は前回発表予想を据え置きますが、利益面におきましては、コストの削減、見直し等により、連結営業利益は63億円と対前回発表予想比2.4%の増益、連結経常利益は62億円と対前回発表予想比3.3%の増益、連結当期純利益は30億円と対前回発表予想比3.4%の増益と修正いたします。また、個別業績予想につきましても、同様の理由で修正いたします。

平成22年3月期通期の連結業績予想の修正

	営業収益	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	230,000	6,150	6,000	2,900	26.41
今回修正予想(B)	230,000	6,300	6,200	3,000	27.32
増減額(B-A)	-	150	200	100	-
増減率(%)	-	2.4	3.3	3.4	-
(ご参考) 前期実績 平成21年3月期	212,659	5,563	5,533	2,848	25.95

(参考)

平成22年3月期通期の個別業績予想の修正

	営業収益	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	170,000	4,950	4,750	2,300	20.94
今回修正予想 (B)	170,000	5,100	5,000	2,400	21.85
増減額 (B - A)	-	150	250	100	-
増減率 (%)	-	3.0	5.3	4.3	-
(ご参考) 前期実績 平成21年3月期	175,336	4,450	4,860	2,610	23.79

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

一般債権の貸倒見積高の算定方法

一般債権の貸倒見積高算定については、当第3四半期連結累計期間末の貸倒実績率等が前連結会計年度末に算定したものと著しい変化がないと認められるため、前連結会計年度末で用いた貸倒実績率を使用しております。

繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

繰延税金資産の回収可能性の判断については、前連結会計年度以降に経営環境等、かつ、一時差異の発生状況に著しい変化がないと認められるため、前連結会計年度末の検討において使用した将来の業績予想やタックスプランニングを使用しております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

受注作成のソフトウェア開発に係る営業収益及び営業費用の計上基準の変更

受注作成のソフトウェア開発に係る営業収益の計上基準については、従来、工事完成基準を適用しておりましたが、「工事契約に関する会計基準」(企業会計基準第15号 平成19年12月27日)及び「工事契約に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針18号 平成19年12月27日)を第1四半期連結会計期間より適用し、第1四半期連結会計期間に着手したソフトウェア開発契約から、当第3四半期連結会計期末までの進捗部分について成果の確実性が認められるものについては工事進行基準(進捗率の見積りは原価比例法)を、その他のものについては工事完成基準を適用しております。

これによる営業収益、営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

5. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成21年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	13,640	11,948
受取手形及び営業未収入金	31,745	24,792
商品	793	212
販売用不動産	24	23
貯蔵品	114	87
仕掛品	226	194
その他	4,808	4,174
貸倒引当金	45	17
流動資産合計	51,308	41,416
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	37,049	37,166
土地	35,483	34,273
その他(純額)	9,790	10,015
有形固定資産合計	82,322	81,454
無形固定資産	3,656	2,558
投資その他の資産		
差入保証金	8,810	8,601
繰延税金資産	5,115	4,910
その他	16,821	15,497
貸倒引当金	243	227
投資その他の資産合計	30,503	28,782
固定資産合計	116,482	112,795
資産合計	167,790	154,212

(単位:百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成21年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び営業未払金	22,598	17,274
短期借入金	14,494	10,968
1年内償還予定の社債	-	7,000
未払法人税等	763	920
賞与引当金	1,879	2,723
役員賞与引当金	55	50
その他	9,301	7,541
流動負債合計	49,092	46,477
固定負債		
社債	7,000	-
転換社債型新株予約権付社債	4,900	4,900
長期借入金	33,743	33,419
退職給付引当金	9,946	9,491
役員退職慰労引当金	279	40
特別修繕引当金	41	26
その他	7,959	7,727
固定負債合計	63,870	55,604
負債合計	112,962	102,082
純資産の部		
株主資本		
資本金	18,345	18,345
資本剰余金	16,607	16,607
利益剰余金	19,260	17,520
自己株式	771	778
株主資本合計	53,441	51,695
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	2	26
為替換算調整勘定	9	10
評価・換算差額等合計	6	36
新株予約権	80	60
少数株主持分	1,312	411
純資産合計	54,828	52,130
負債純資産合計	167,790	154,212

(2) 四半期連結損益計算書
(第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)
営業収益	165,700	169,141
営業原価	152,483	154,100
営業総利益	13,217	15,040
販売費及び一般管理費	8,334	9,685
営業利益	4,882	5,355
営業外収益		
受取利息	96	130
受取配当金	600	691
その他	304	428
営業外収益合計	1,001	1,250
営業外費用		
支払利息	674	840
その他	443	585
営業外費用合計	1,118	1,425
経常利益	4,765	5,179
特別利益		
受取補償金	110	-
特別利益合計	110	-
特別損失		
固定資産除却損	190	250
過年度損益修正損	-	180
リース解約損	135	81
投資有価証券評価損	-	43
固定資産評価損	-	32
ゴルフ会員権評価損	39	-
特別損失合計	366	587
税金等調整前四半期純利益	4,510	4,592
法人税、住民税及び事業税	1,417	1,638
法人税等調整額	728	438
法人税等合計	2,146	2,077
少数株主利益	0	86
四半期純利益	2,363	2,601

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	4,510	4,592
減価償却費	2,888	3,649
固定資産除却損	190	250
退職給付引当金の増減額(は減少)	131	55
賞与引当金の増減額(は減少)	903	991
受取利息及び受取配当金	697	822
支払利息	674	840
売上債権の増減額(は増加)	112	4,195
たな卸資産の増減額(は増加)	44	264
仕入債務の増減額(は減少)	1,181	3,001
その他	253	843
小計	5,446	5,162
利息及び配当金の受取額	159	198
利息の支払額	617	786
法人税等の支払額	2,627	1,874
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,361	2,699
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	3,188	1,865
有形固定資産の売却による収入	219	267
投資有価証券の取得による支出	155	15
投資有価証券の売却による収入	28	29
子会社株式の取得による支出	-	478
関係会社株式の取得による支出	134	-
関係会社株式の売却による収入	3	134
関係会社出資金の払込による支出	60	-
その他	129	241
投資活動によるキャッシュ・フロー	3,417	1,685
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(は減少)	1,300	684
長期借入れによる収入	5,750	4,400
長期借入金の返済による支出	4,484	1,006
社債の発行による収入	-	7,000
社債の償還による支出	-	7,000
自己株式の売却による収入	5	2
自己株式の取得による支出	72	3
配当金の支払額	852	852
その他	295	1,113
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,351	741
現金及び現金同等物に係る換算差額	14	0
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	281	1,756
現金及び現金同等物の期首残高	12,317	11,748
連結の範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の増減額(は減少)	59	35
現金及び現金同等物の四半期末残高	12,658	13,540

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

〔事業の種類別セグメント情報〕

前第3四半期連結累計期間(自平成20年4月1日至平成20年12月31日)

項目	運送事業 (百万円)	流通加工 事業 (百万円)	その他事業 (百万円)	計 (百万円)	消去又は 全社 (百万円)	連結 (百万円)
営業収益						
(1) 外部顧客に対する 営業収益	97,232	50,798	17,669	165,700	-	165,700
(2) セグメント間の内 部営業収益または 振替高	2,425	3,032	12,530	17,987	(17,987)	-
計	99,657	53,830	30,200	183,688	(17,987)	165,700
営業利益	2,468	1,935	577	4,980	(98)	4,882

当第3四半期連結累計期間(自平成21年4月1日至平成21年12月31日)

項目	運送事業 (百万円)	流通加工 事業 (百万円)	その他事業 (百万円)	計 (百万円)	消去又は 全社 (百万円)	連結 (百万円)
営業収益						
(1) 外部顧客に対する 営業収益	97,482	54,358	17,300	169,141	-	169,141
(2) セグメント間の内 部営業収益または 振替高	2,166	3,277	8,504	13,948	(13,948)	-
計	99,648	57,636	25,804	183,089	(13,948)	169,141
営業利益	2,961	1,731	715	5,409	(53)	5,355

(注) 1. 事業区分は、事業内容及びその相互関連性に基づき区分しております。

2. 各事業の主な内容

(1) 運送事業	貨物自動車運送事業、特別積合せ貨物運送、貨物自動車利用運送事業、鉄道利用運送事業、海上運送事業及び内航運送業、港湾運送事業、国際運送取扱業等
(2) 流通加工事業	倉庫業、荷主の構内における原材料及び製品の包装・移動等の作業、物流センターの運営等
(3) その他事業	石油類販売事業、情報処理機器販売業、情報処理受託業、自動車修理事業等

〔所在地別セグメント情報〕

前第3四半期連結累計期間(自平成20年4月1日至平成20年12月31日)及び当第3四半期連結累計期間(自平成21年4月1日至平成21年12月31日)

全セグメントの営業収益の合計額に占める「本邦」の割合がいずれも90%を超えているため、所在地別セグメント情報の記載を省略しております。

〔海外売上高〕

前第3四半期連結累計期間(自平成20年4月1日至平成20年12月31日)及び当第3四半期連結累計期間(自平成21年4月1日至平成21年12月31日)

海外営業収益は連結営業収益の10%に満たないので、海外営業収益の記載を省略しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。